

白鷗大学経営学部 青崎ゼミナール 韓国班
 大学コンソーシアムとちぎ主催「第21回 学生&企業研究発表会」で
 株式会社ファーマーズ・フォレスト賞を受賞

■研究テーマ

韓国人観光客誘客による栃木県活性化の可能性
 ～韓国映像コンテンツと地域フィルムコミッションの新たな挑戦～

■受賞

株式会社ファーマーズ・フォレスト賞

■研究内容

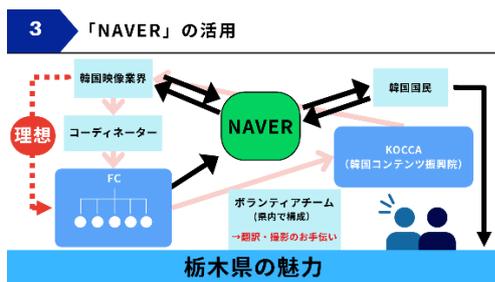
〈施策概要〉

現在、日本には多くの観光客が訪れており、中でも韓国人観光客が最も高い割合を占めています。栃木県は誘客できていません。そこで私たちは韓国人観光客が映像コンテンツの聖地巡礼を好む傾向にある点に注目し、近年多くの人々の関心を集める韓国映像コンテンツに対するロケーション誘致を行おうと考えました。

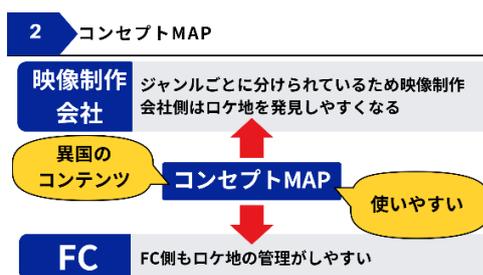
施策の内容として、海外向けフィルムコミッションのロケ誘致活動強化の枠組みを提案し（図1）、付随して異国のコンテンツを感じ、使いやすい印象を持ってもらうために映像制作会社向けにコンセプトMAPを作成します（図2）。実際に「自然」と「恋愛」とコンセプトを設定し、コンセプトMAPを作成しました。（図3）

本施策は新たな観光スポットの創出とともに、韓国人観光客の誘客、認知向上、地域活性化、間接経済効果の可能性を提言します（図4）

（図1）



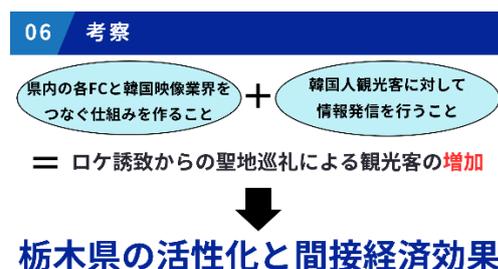
（図2）



（図3）



（図4）



■ご協力いただいたヒアリング団体様一覧

ヒアリング団体名
埼玉県庁 産業労働部 観光課 インバウンド担当
栃木県 観光物産協会 観光課
KOCCA 韓国コンテンツ振興院 日本ビジネスセンター
SEGA XD
東京都品川区文化観光スポーツ振興部 文化観光戦略課 しなロケ 品川区フィルムコミッション
NPO 那須フィルム・コミッション
栃木県産業労働観光部観光交流課 栃木県フィルムコミッション
栃木県足利市みどりと文化・スポーツ財団 撮影支援室 あしかがフィルムコミッション



KOCCA 韓国コンテンツ振興院 日本ビジネスセンターへのヒアリングの様子

■メンバーコメント

〈関根〉

グループ研究が課せられる1年目は、仲間とともに研究内容の設定、深掘りや企業へのヒアリングを数多く行ってきました。施策を考える中で情報収集やフィールドワーク、資料作成、プレゼンテーションなどで様々な課題に直面しました。特に情報収集に関しては調査対象が韓国ということもあり、データ取得の際に言語問題等で苦労しました。しかし、施策内容が行き詰まった時には班内でミーティングを行い、意見交換を交わすことで内容はより実現性の高いものとなりました。私は他者と協力して課題に取り組む力、第三者に自分の意見を発信する力を養いました。このような経験で得た力はこれから先の人生で役立つものだと確信しています。これからも主体性と協調性を持って行動し、自己成長に繋げていきます。

〈藤田〉

ゼミの活動を通じて様々な貴重な体験をさせていただきました。グループでの議論やプレゼンテーション、2回にわたる東京フィールドワークなど、普段の学業では得られない貴重な経験を積むことができました。特に、KOCCA(韓国コンテンツ振興員)とのヒアリングは、私たち韓国班の研究に実りある機会になりました。この約1年の活動を通じて、グループ内で偏った視点に陥らないよう、他者の意見を尊重しつつも、異なる視点から問題を整理する力を養いました。これらの経験を通じて、視野が広がり、自分自身の成長を実感しております。

〈山田〉

今回グループ研究を通して活動前の自分と比べ、コミュニケーション能力が身についたと非常に感じています。特にヒアリング活動では大人の方々とお話をする機会がたくさんありました。初めての経験ではありましたが、コミュニケーションをとりながら、話を聞く大切さや楽しさを学びました。また、チームで一つのことを進めて行く中で、お互いがお互いの意見を褒め合ったり、意見を出し合ったり、頻繁にコミュニケーションをとりながら進め、とても良い雰囲気で行えたことも、能力が身についたと感じる理由の一つです。

そして、施策内容に関する映像業界というのは情報収集が難しい業界でしたが、最後まで諦めずに調べ続けられたことも、自分自身、そしてチームとしての粘り強さを感じました。

今回のこのグループ研究は新たな自分のスキルを身につけるとともに、自分の長所をさらに強化させられるような経験になりました。